

補助金・交付金 チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	道南いさりび鉄道株式会社経営安定化補助金	開始年度	平成28年度
団体名	道南いさりび鉄道株式会社	団体等の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 課税事業者 <input type="checkbox"/> 免税事業者
助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則 ・道南いさりび鉄道株式会社経営安定化補助金交付要領		

○補助事業の内容および目的・効果

内容	平成24年5月に道と沿線市町で構成する協議会において、自治体間の負担割合を道80%、北斗市11.2%、函館市および木古内町4.4%とし、また、平成26年7月に協議会で決定した経営計画において、会社設立から開業後10年間の収支不足に対し、道と沿線市町の実質負担額を23億円程度と見込み、自治体からの出資金、初期投資補助および運行赤字に対する補助により賄うこととしており、同社の資金調達等を考慮し、半期毎の運行赤字実績に対して補助する。
目的	(目的) 道南いさりび鉄道株式会社の円滑な鉄道事業の実施と経営安定化を図るため、道および沿線市町において運行赤字分を補助する。
効果	(効果) 鉄道輸送の安全性や安定的な運行と経営基盤を確保することにより、地域の公共交通の維持存続および北海道と本州を結ぶ重要な物流ルートの確保が図られる。

○補助事業の収支状況 ※上段:補助事業等に要する経費 [下段]:補助対象経費 (単位:千円)

収入	年度	助成金		事業収入	会費	繰越金	計
		市	その他				
入	H29	6,550 [6,550]	142,308 [142,308]	1,968,973 [1,968,973]			2,117,831 [2,117,831]
	H30	7,733 [7,733]	168,017 [168,017]	2,113,064 [2,113,064]			2,288,814 [2,288,814]
	R元	6,950 [6,950]	151,002 [151,002]	1,825,508 [1,825,508]			1,983,460 [1,983,460]
支	R2	11,462 [11,462]	249,043 [249,043]	1,835,274 [1,835,274]			2,095,779 [2,095,779]
	R3	10,612 [10,612]	230,576 [230,576]	1,920,873 [1,920,873]			2,162,061 [2,162,061]
	R元	367,654 [367,654]	1,486,546 [1,486,546]	1,854,200 [1,854,200]			3,743,746 [3,743,746]
出	H29	443,106 [443,106]		1,540,966 [1,540,966]		103,730 [103,730]	2,095,779 [2,095,779]
	H30	444,419 [444,419]		1,577,747 [1,577,747]		86,176 [86,176]	2,162,061 [2,162,061]
	R元	443,106 [443,106]		1,540,966 [1,540,966]		103,730 [103,730]	2,095,779 [2,095,779]

補助金・交付金 チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	道南いさりび鉄道株式会社経営安定化補助金
----------------	----------------------

○基本的視点の再チェック

基本的視点	適	不適	説明
1 公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	道南いさりび鉄道線(五稜郭・木古内間)は通勤・通学・通院などに幅広く活用されるとともに、北海道と本州を結ぶ重要な物流ルートとしての役割を担っており、本路線の維持は市民生活の向上に資するものであることから、公益性は非常に高い。
2 必要性(補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	鉄道輸送の安全性、安定的な運行と経営基盤を確保することで、将来にわたる沿線地域の生活路線、北海道物流の維持につながるものであることから、今後も北海道および沿線市町により補助を継続する必要がある。
3 自主性(自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	旅客全便函館駅に乗り入れることで利用者の利便性向上を図るとともに、観光列車の運行や一日フリー切符の導入といった利用促進のほか、新規グッズ販売や地域に密着した営業活動など収入増に向けた各種取り組みに努めている。
4 有効性(他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	北海道と沿線市町で構成する協議会で策定した経営計画により、運行赤字については、北海道および沿線市町により補助金を充当することとしており、負担割合についても同協議会で決定していることから、今後も補助を継続する必要がある。

○財政的視点のチェック

財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1 積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2 補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3 積算基準は定められている	<input type="checkbox"/>	
4 補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5 前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6 自主財源の確保に努めている(最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7 経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

補助金・交付金 チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	道南いさりび鉄道株式会社経営安定化補助金
----------------	----------------------

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)
令和3年度 補助額 函館市 10,612千円 北海道 192,950千円 北斗市 27,013千円 木古内 10,612千円
(達成状況)
北海道新幹線(新青森・新函館北斗間)開業により経営分理された道南いさりび鉄道線(五稜郭・木古内間)の円滑な鉄道事業の実施と安定的な経営を確保することにより地域の公共交通の維持存続および北海道と本州を結ぶ重要な物流ルートの確保が図られた。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/>	補助の実施により、地域の公共交通の維持存続および北海道と本州を結ぶ重要な物流ルートの確保が図られており、十分な効果を上げていると言える。
一定の効果をあげている <input type="checkbox"/>	
効果が疑問である <input type="checkbox"/>	
その他 <input type="checkbox"/>	

○今後の方向性

<input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	(見直しの内容)
<input type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	
(見直しの時期)	
(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
令和 7 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	令和 7 年度